平成22年度多可町教育委員会事務事業評価票

こころ豊かで(優しさと思いやり)、かしい・そして心身ともにたくましい人づくり		
施策名	気持ちよく、安全・安心な学びの場の環境整備	
所管	教育委員会 教育総務課	備考
施策目標 (目指すべき状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた教育委員会を目指し、委員会の公開と点検・評価の結果を公表していく。 また、教育委員主導の運営を進めるため、委員と事務局の連携を更に密にし、教育委員会事業についての学習会の開催を行うほか、各種団体との意見交換会を開催していきたい。 学校規模適正化について検討会の開催と多くの住民との意見交換会も開催していく。 ・各学校施設(体育館含む)の耐震化に取り組み、少しでも早い耐震化率100%を目指す。 ・学校給食センター統合に向け、安心・安全の給食の提供に向けて知恵を出し合い、素晴らしい給食センターになるように取り組む。 ・給食費滞納者ゼロを目指す。 ・地域の歴史学習の拠点として、伝統文化に触れる体験学習を行う。 ・施設の周知を図り、交流施設・生涯学習活動の場として提供する。 ・未利用者に図書館を知ってもらい利用してもらうような働きかけが望まれる。 	(教育委員会) (学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館) (図書館)
施策を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・住民からは開かれた教育委員会が望まれる。 ・H22年度で耐震化率87.9%までになり八千代中北校舎が完成すると90.9%になる。 ・山崎断層の存在がはっきりしているなか、災害時に避難場所となる学校園について、安心・安全のハードを早急に整備する必要がある。 ・給食の食材使用率について、多可町産米は100%であるが、多可町産野菜の使用は12.38%とやや少なめである。 ・地産地消の推進にあたり、生産農家の充実が必要である。 ・中国産野菜等の使用不可や原油や野菜等の価格の高騰を含め大変厳しい市場経済となっている。 ・住民ボランティアに支えられているので更なるボランティアの確保が必要となっている。 	(教育委員会) (学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館)
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた教育委員会を目標とし、評価委員会が年3回開催され、H21年度の点検・評価にかかる報告書を作成した。 ・学校給食センター統合検討委員会が開催され、センター統合に向けての会議がもたれた。 ・H21年度の82.4%から、H22年度で耐震化率88.2%まで増加した。 ・年間集客率をみるとH21年度の15,114人を下回る13,154人だった。 ・H21年度はカード登録率26.8%が、H22年度には29.2%と増加している。 	(教育委員会) (給食センター) (学校園施設) (那珂ふれあい館) (図書館)
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化補強を平成26年度までに完了すること。 ・3給食センターの統合。 ・給食費の値段見直し。 ・野菜等生産農家との連携。 ・体験イベントの講師・サポーターの確保。 ・民俗資料の保管用施設及び展示場について具体的に検討。 ・利用者確保。図書館カード登録の推進。 ・利用しやすい図書館として施設の改修及び生涯学習施設として複合施設化。 	(学校園施設) (給食センター) (那珂ふれあい館) (図書館)
講評	<ul style="list-style-type: none"> I-1 今後とも積極的に進められたい。 学校規模適正化については、地元説明会や意見交換会をもつなど、多くの人の意見を聞き、慎重にすすめられたい。 I-2 現場の意見を大いに聞き、知恵を出し合い、素晴らしいセンターになるように努力されたい。 I-3 現状のまま、計画に沿って進められたい。 I-4 今後は現状を維持しつつ、より一層の事業改革を図られたい。 I-5 値段をあげることはよいが、その理由をはっきりとさせること。 今後とも、可能な限り、地元産のものを多く取り入れていって欲しい。 I-6 自信を持って安全・安心の給食が提供できるよう、給食センターの統合を進めてほしい。 I-7 町内小学校への利用推進について具体的に進めてほしい。 I-8 この方向で一步でも前へ進めてほしい。 I-9 積極的に現地説明会を開催し、ふるさとを愛する心を育てるためのいい機会として欲しい。 I-10 事業は積極的にすすめてほしい。 I-11 更なる拡充・充実を図られたい。 I-12 今後は現状を維持しつつ、図書館のあり方について積極的に検討を図られたい。 	

平成22年度多可町教育委員会事務事業評価票

施策を構成する事務事業の状況

事務事業名	経費の概算(千円)		自己評価	評価委員意見	担当課・所管
	H21	H22			
I - 1 教育委員会運営事業	5,630	4,823	3	妥当である	教育総務課
I - 2 学校給食施設管理運営事業	2,671	3,411	3	妥当である	教育総務課
I - 3 学校園施設整備事業	209,337	201,391	4	妥当である	教育総務課
I - 4 教育委員会事務局事業	11,016	15,581	3	妥当である	教育総務課
I - 5 学校給食運営事業	207,965	209,058	3	妥当である	給食センター
I - 6 給食センター施設維持管理事業	7,332	8,348	3	妥当である	給食センター
I - 7 那珂ふれあい館運営事業	16,108	15,479	3	妥当である	那珂ふれあい館
I - 8 那珂ふれあい館施設管理事業	4,679	4,578	3	妥当である	那珂ふれあい館
I - 9 埋蔵文化財事業	19,105	28,146	3	妥当である	那珂ふれあい館
I -10 文化財保護事業	8,070	8,140	3	妥当である	那珂ふれあい館
I -11 図書館運営事業	52,636	48,987	3	妥当である	図書館
I -12 図書館施設管理事業	3,727	3,337	3	妥当である	図書館

(注)評価委員の意見は教育委員会の自己評価に対する意見である。